

健康経営法人を認定

経産省らブライイト500初公表

日本健康会議と経済産業省は4日、健康経営優良法人2020の認定法人を発表した。大規模法人部門1801法人、中小規模法人部門7934法人を認定したほか、大規模法人部門のうち特に優良な健康経営を実践している「ホワイト500」に加えて、今年から中小規模法人の優良法人として「ブライイト500」を初めて公表。ブライイト500に東北・関東のコンクリート圧送大手のヤマコンが認

定された。

同認定制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議による健康増進をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業を顕彰するもの。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業、金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として、社会的に評価を受ける

環境の整備が目的。

ブライイト500に認定されたヤマコンは定期健康診断の100%実施、全職員に対するストレスチェックの実施、感染症予防対策などを進めている。さらに、中期的には社内での喫煙者ゼロを目標とした禁煙活動も進めている。また、社内に安全環境部を設置し、専任の部長も配置している。ヤマコンは企業理念「企業に参加する全ての人は、幸せでなければならぬ」を念頭

に、全職員の健康増進を重視。健康管理を経営課題として捉え、今後も働きやすい職場づくりのため、長期的なビジョンにも続く健康経営を実践している。中小企業法人部門で選定された主なコンク

リート関連企業は上田商会（北海道）、三三五流通（青森県）、立石コンクリート（岩手県）、南光台金物（宮城県）、東和砕石（宮城県）、秩父太平洋セメント（埼玉県）、山崎ヒューマンコンクリート（新潟県）、日本海コンクリート工業（富山県）、桜井建設（富山県）、敦賀セメント（福井県）、日本ピーエス（福井県）、炭平コーポレーション（長野県）、ヤマサマテリアル（長野県）、新品川商事（大阪府）など。

大規模法人部門では、ホワイト500には、ホワイト500以外では宇部興産、トクヤマ、東ソー、パシフィックシステム、富士ビー・エス、極東開発工業などが選定された。